

## 映画産業

- ・2021年興収規模はコロナ前の50%にとどまるも、スクリーン数は増加
- ・国際共同製作については、ロケ誘致による共同制作での実績が多い

## 域内市場

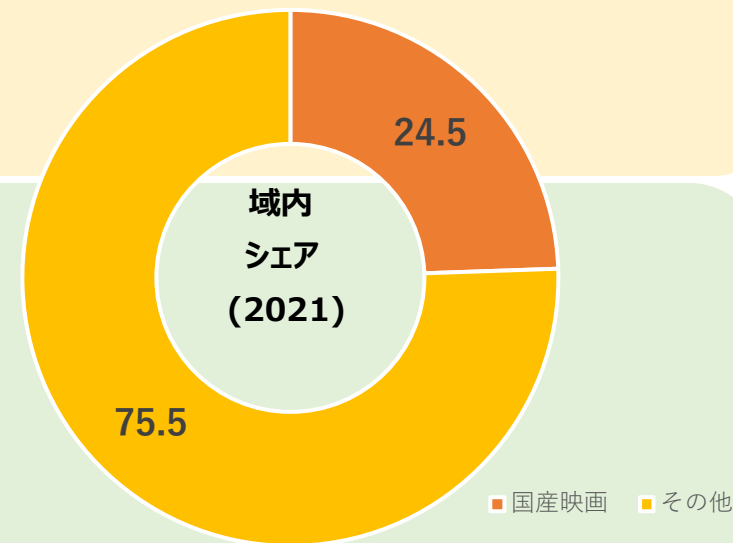
- ・ 国別シェア →
- ・ 中国作品の公開は年10本程度とする制限あり

### 興収ベース

アメリカ	58%
台湾	24%
日本	9%
韓国	3%
香港	2%

### 本数ベース

日本	25%
アメリカ	22%
台湾	11%
フランス	7%
韓国	7%



## 市場データ (2021年)

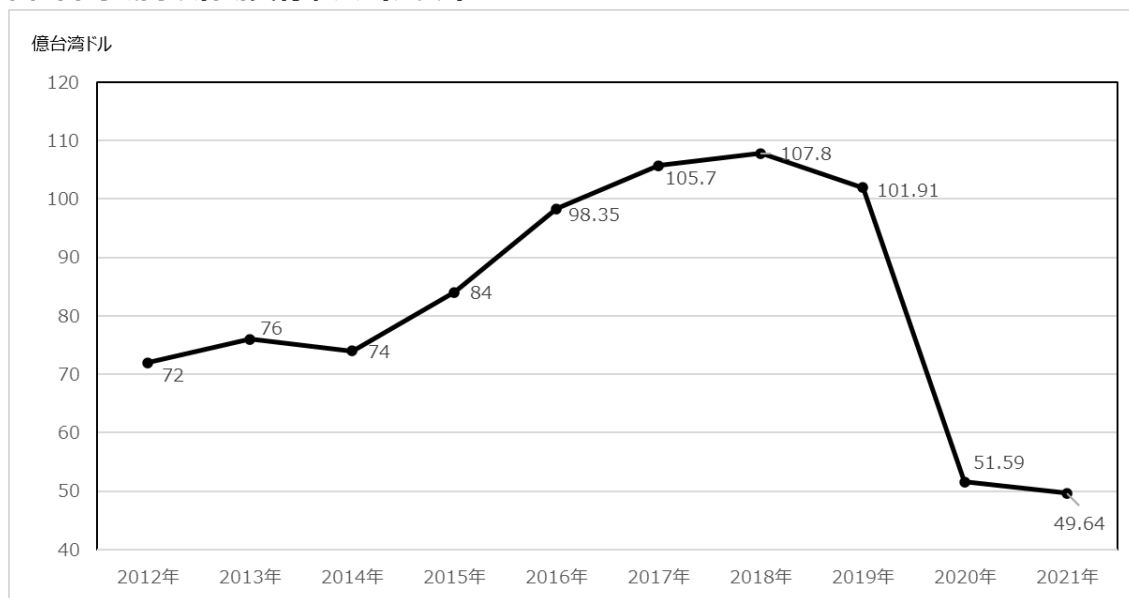
- |                        |           |                     |
|------------------------|-----------|---------------------|
| ・国内興行収入:               | 49.6億台湾ドル | (2019年: 101.9億台湾ドル) |
| ・国内の劇場動員数:             | 2,011万人   | (2019年: 4,320万人)    |
| ・国内のスクリーン数:            | 945       | (2019年: 918)        |
| ・平均チケット価格:             | 264.8台湾ドル | (2019年: 235.9台湾ドル)  |
| ・一人あたりの年間平均入場回数:       | 0.86回     | (2019年: 1.83回)      |
| ・マーケットシェアにおける国産映画のシェア: | 24%       | (2019年: 6.9%)       |
| ・国産製作数 (新作公開数):        | 61本       | (2019年: 48本)        |

## 台湾の域内市場規模

### 1. 興行収入 (2012-2021<sup>1</sup>)

\* 近年順調に増加していたが、2020年からは前年の半分程度に落ち込んでいる。

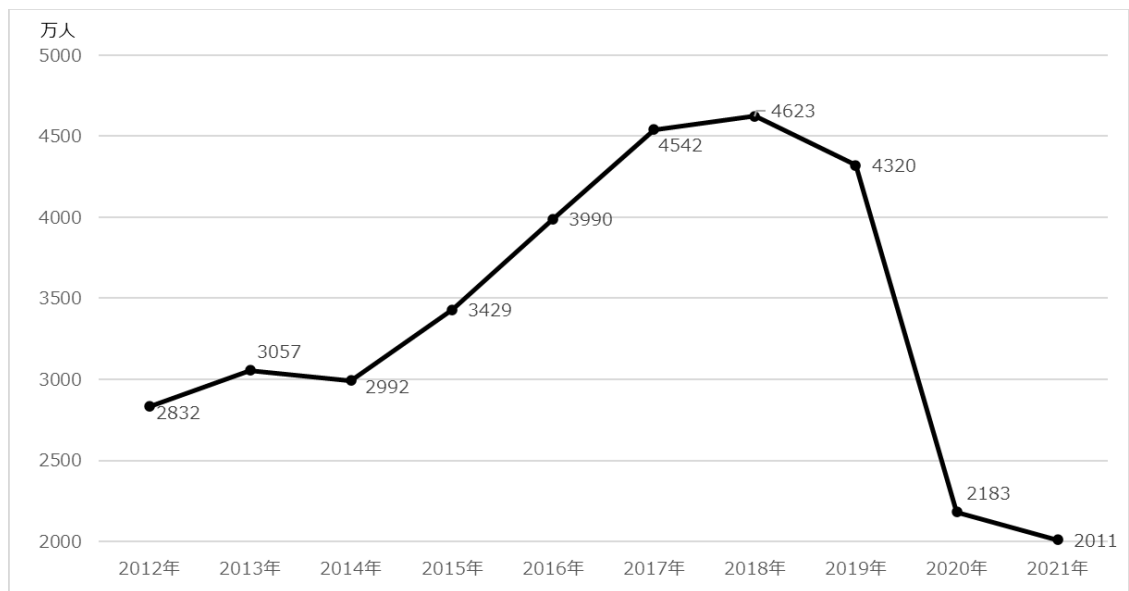
図 台湾域内の劇場興行収入 (グラフ)



### 2. 動員数 (2012-2021)<sup>2</sup>

\* 近年、興行収入と比して堅調に増加していたが、2020年より落ち込んでいる。

図 台湾域内の劇場動員数 (グラフ)



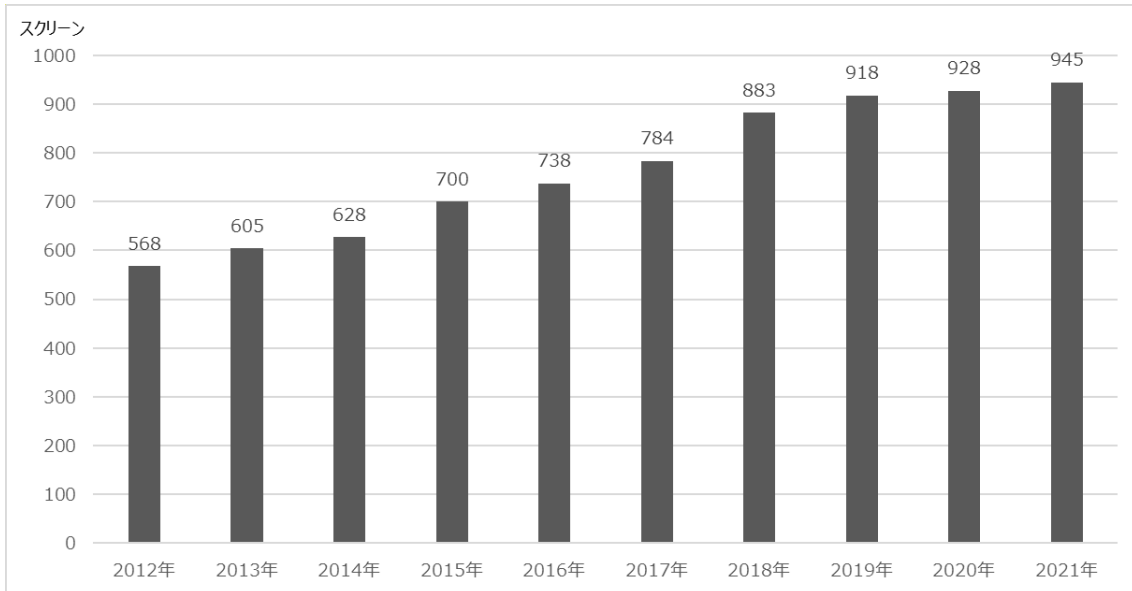
<sup>1</sup> 文化部発行「電影市場動態」を元に作成 [https://www.bamid.gov.tw/information\\_243\\_127381.html](https://www.bamid.gov.tw/information_243_127381.html)

<sup>2</sup> 同上 ただし 2015年と2016年の動員数はデータ無く、興行収入総計÷チケット単価で概算し四捨五入

### 3. スクリーン数 (2012-2021) <sup>3</sup>

\* 順調に増え続け、10年で400スクリーン弱増加した。

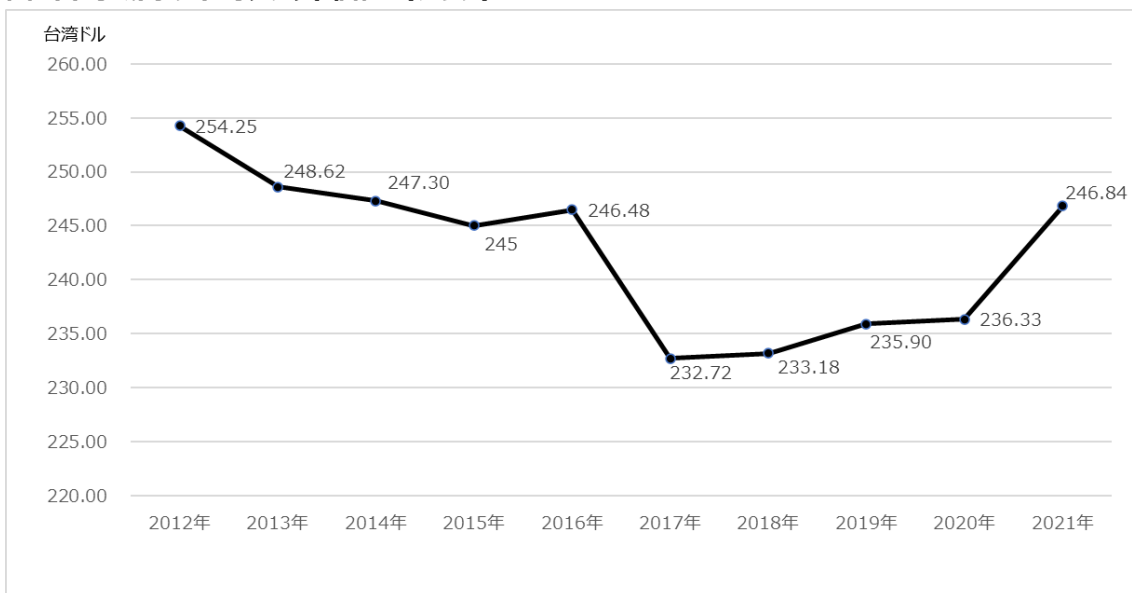
図 台湾域内のスクリーン数 (グラフ)



### 4. 平均チケット価格 (台湾ドル) (2012-2021) <sup>4</sup>

\* チケット価格は減少気味だったが 2021年は246台湾ドルまで上昇。

図 台湾域内の平均チケット価格 (グラフ)



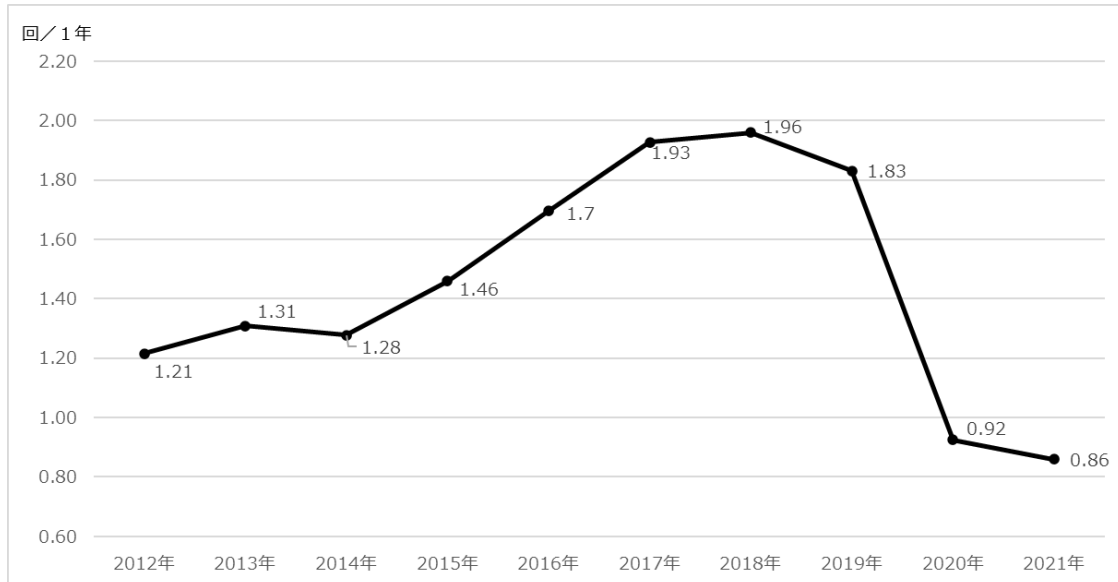
<sup>3</sup> データ参照 European Audiovisual Observatory 発行「FOCUS」2012年版～2021年版を元に作成

<sup>4</sup> データ参照 文化部発行「電影市場動態」を元に作成 [https://www.bamid.gov.tw/information\\_243\\_127381.html](https://www.bamid.gov.tw/information_243_127381.html)  
ただしデータがないものは、興行収入÷動員数で算出

## 5. 一人あたりの年間平均入場回数（2012-2021）<sup>5</sup>

\* 近年順調に増えてきていたが、2020年から1回を切っている。

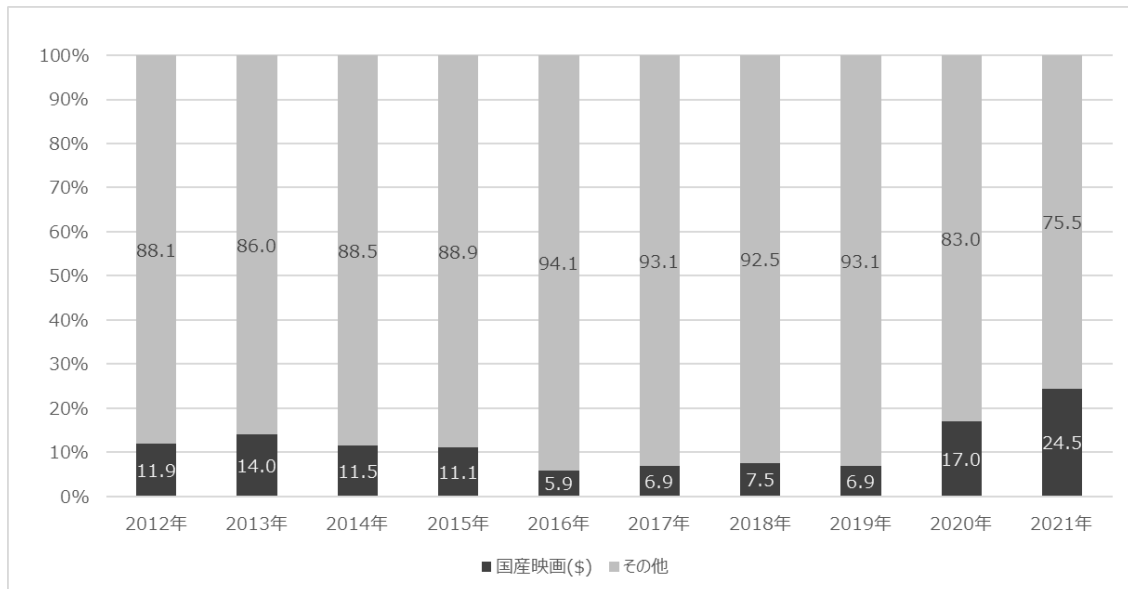
図 台湾域内の一人あたりの年間平均入場回数



## 6. マーケットシェアにおける台湾映画の割合（2012-2021）<sup>6</sup>

\* 台湾映画の割合は大きな変動はなく、1割前後を推移していたが、2021年は24%まで上昇した。

図 台湾域内のマーケットシェアにおける台湾映画の割合



【注釈】2017年までは台北市の数値のみを集計しているため、参考データとする。

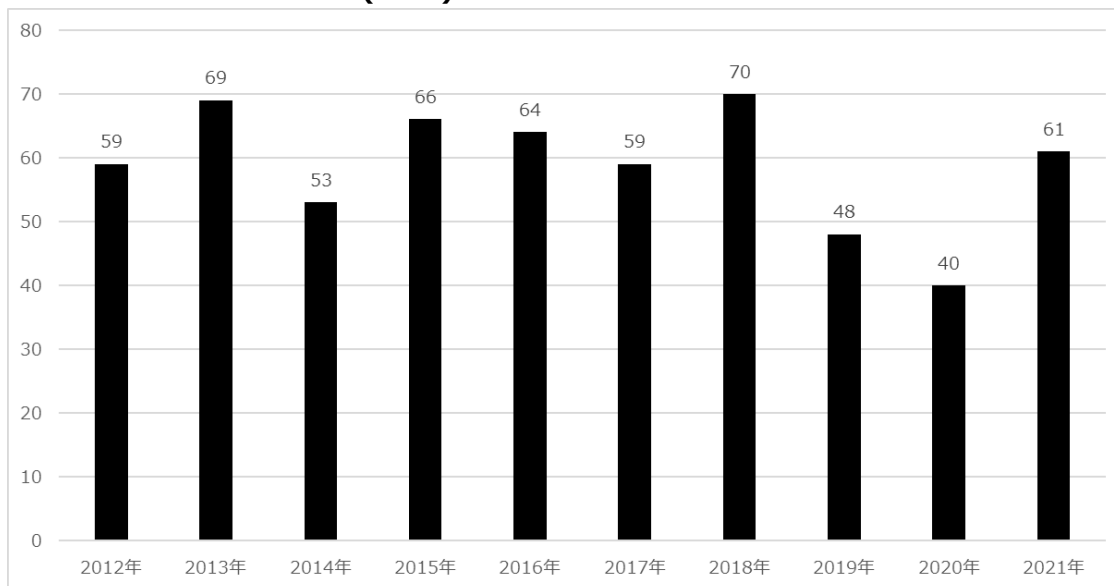
<sup>5</sup> 既存データをもとに算出（人口÷動員数）

<sup>6</sup> 文化部発行「電影市場動態」を元に作成 [https://www.bamid.gov.tw/information\\_243\\_127381.html](https://www.bamid.gov.tw/information_243_127381.html)

## 7. 映画製作本数（2012-2021）<sup>7</sup>

\* 年により変動がある。ここ数年は減少傾向にあり。

図 台湾域内の映画製作本数(グラフ)



〔注釈〕製作本数は変動が大きく統計が取りにくいことに加え、台湾では映画制作が完了したことを報告する義務がないため、正確な数字は不明。本データは新作として公開された台湾映画の公開本数である。

<sup>7</sup>データ参照 European Audiovisual Observatory 発行「FOCUS」2012年版～2021年版を元に作成